

# 公共サービス・大学機関による 地域サポートの日米比較— 日本における展望

山下いづみ

日本家政学会生活経営学部会夏期セミナー

東京家政学院大学

2006年8月22日

# 内容

---

- アメリカ合衆国の公共サービスのあれこれ
- MSUエクステンション
- MSUエクステンションプログラム事例
- アメリカ合衆国と日本の公共サービスの違い

# アメリカ合衆国における地域公共サービスのあれこれ

## ■ Kids Families Community

目的: 学校、家庭が協力し、よいコミュニティをつくる。

資本: 地域の助成金

4つの小学校内にオフィス設置

サービス: 食べ物・服提供・子ども、親の心身成長サポート・ハウジング・交通など

イベントも用意



## ■ Family Self Sufficiency

Terre Haute Housing Authorityのプログラム

目的: 公共資源、情報を住む人々が活用し、自立する。

資本: 連邦、州政府

サービス: 低所得家族への教育・心身ケア。家を持てるサービスも行っている。1800軒用意。日常生活に必要なスキル(食べ物、栄養、子育て、家事、貯蓄など)

# アメリカ合衆国における地域公共サービスの あれこれ Child Abuse Prevention Services (CAPS)

## ■ Nurturing Parenting program

Family resources institutes

目的: 子育てのスキルを提供

概要: 0～5歳児をもつ両親対象に、週1度(3時間) 13レッスン

1. 参加者家族、スタッフと食事
2. 親子アクティビティ
3. 親講座/子どもは別に遊ぶ
4. 全員参加で歌をうたう

親講座: 講義・ディスカッション  
テキスト・家族日記・ビデオ

## ■ Parenting

Family Growth Center

目的: 子育てをあきらめない

場所: 教会

概要: 裁判所からの命令などで、参加する親。週1回(2時間) 10レッスンか年間通し。内容は主にペアレンティング、コミュニケーション、自尊心、しつけと暴力のちがい、ストレス・怒りの対処法、生活一般について、講義、ビデオ観賞、ディスカッション

## プログラムの事例

# ACTS-All Children Connected to Succeed

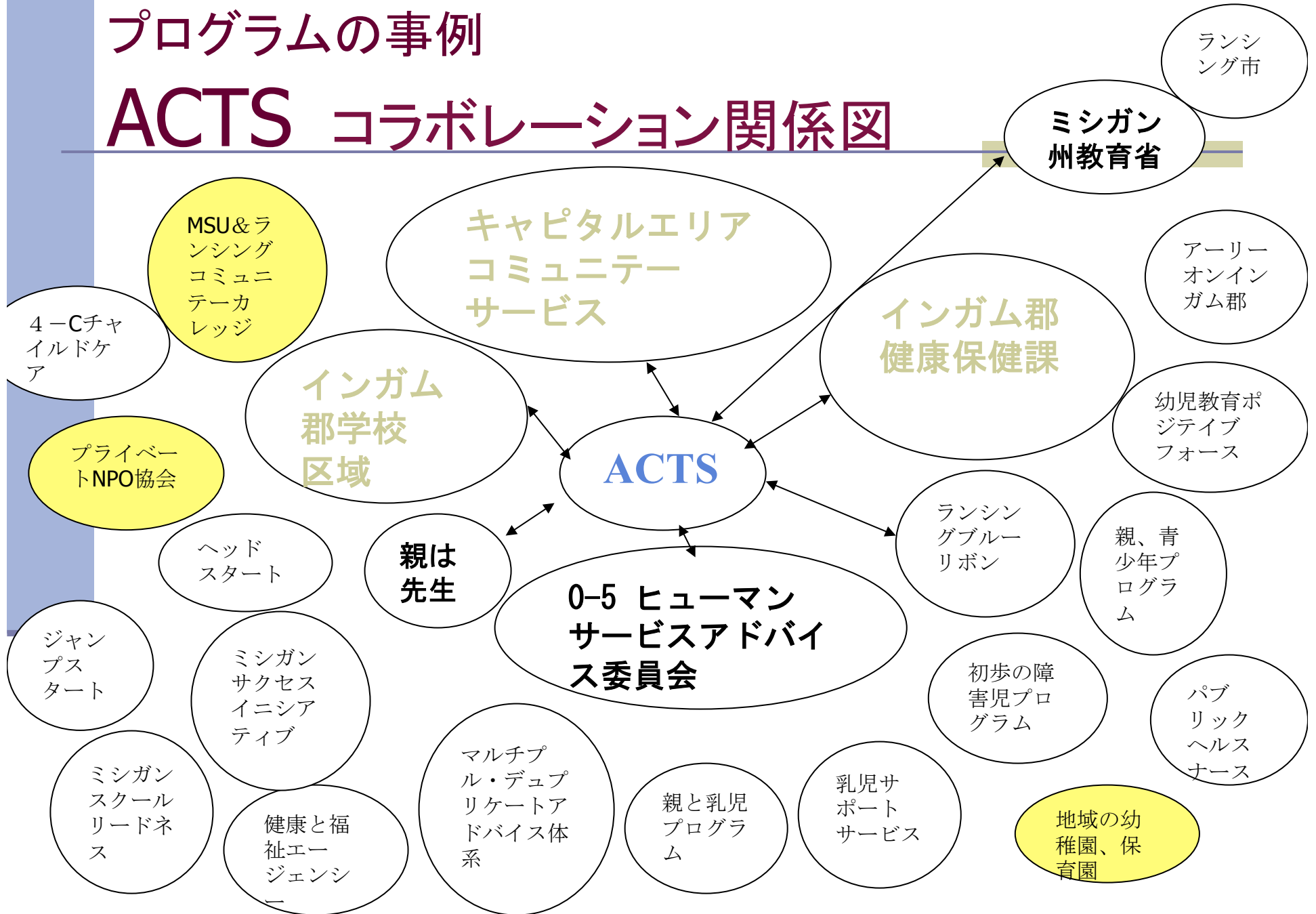
---

- 1999年 ミシガン州政府提言
- 3億円、ミシガン州教育省 3年計画
- インガム郡人口28万人ほど
- 0-5歳の子と保護者向けのプログラムの強化

ユニバーサルで高質な乳幼児教育とケア  
を地域に提供する

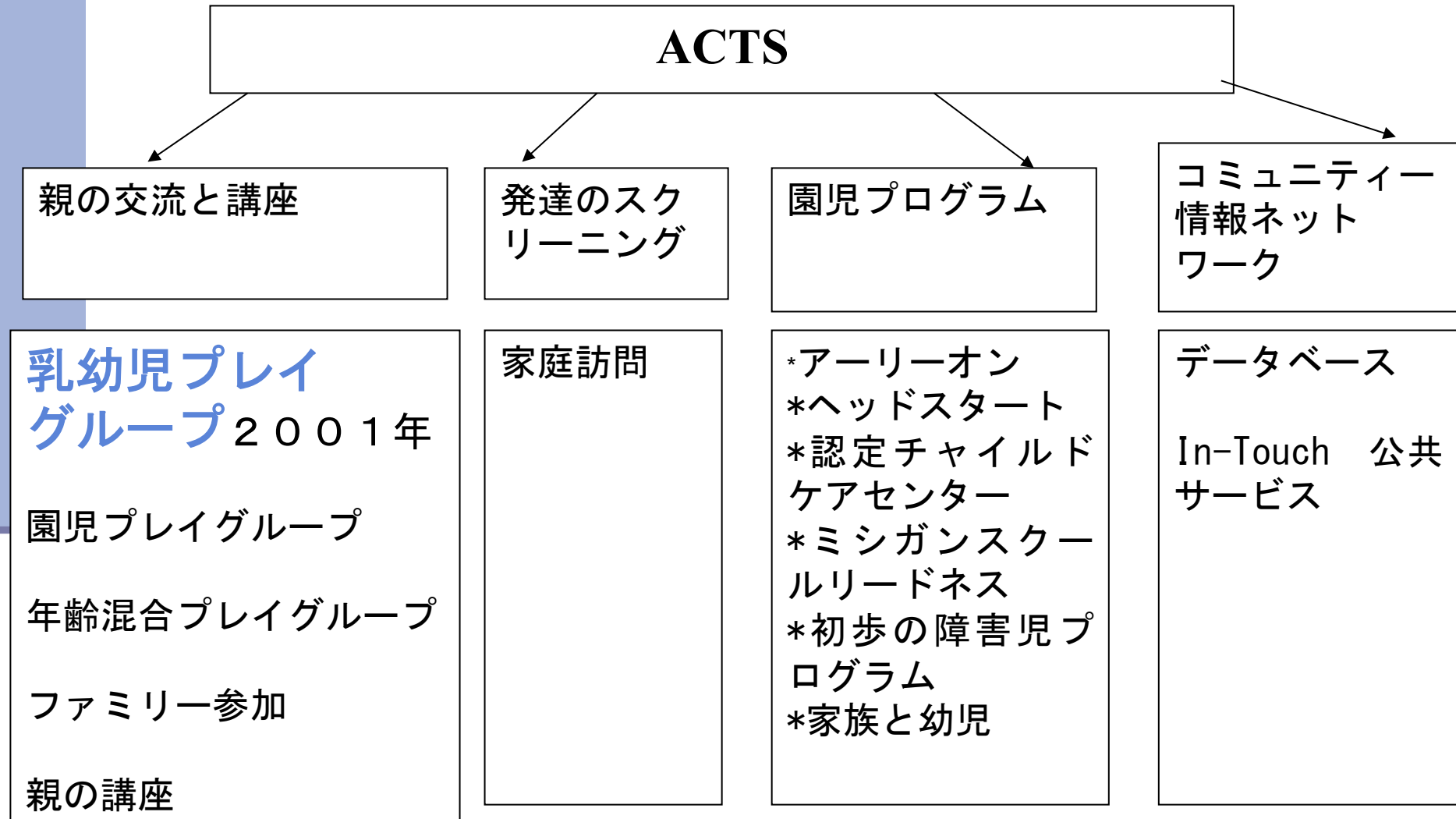
# プログラムの事例

## ACTS コラボレーション関係図



# プログラムの事例

## ACTS 仕組み



## プログラムの事例

# ACTS 幼児プレイグループ プログラム

---

- 目的 親たちがこどもの発達や、子育てなど学ぶ
- 内容 5-7つぐらいの遊びが用意され、グループ遊び、親子、子供同士の遊びを通して学ぶ。用意された遊びが子どもの成長、発達にどのようなのか、親は資料の提供を受ける
- 週4回、1時間、 11ヶ所、15人ぐらい



プログラムの事例 幼児プレイグループ

## ACTS 講座の流れ

---

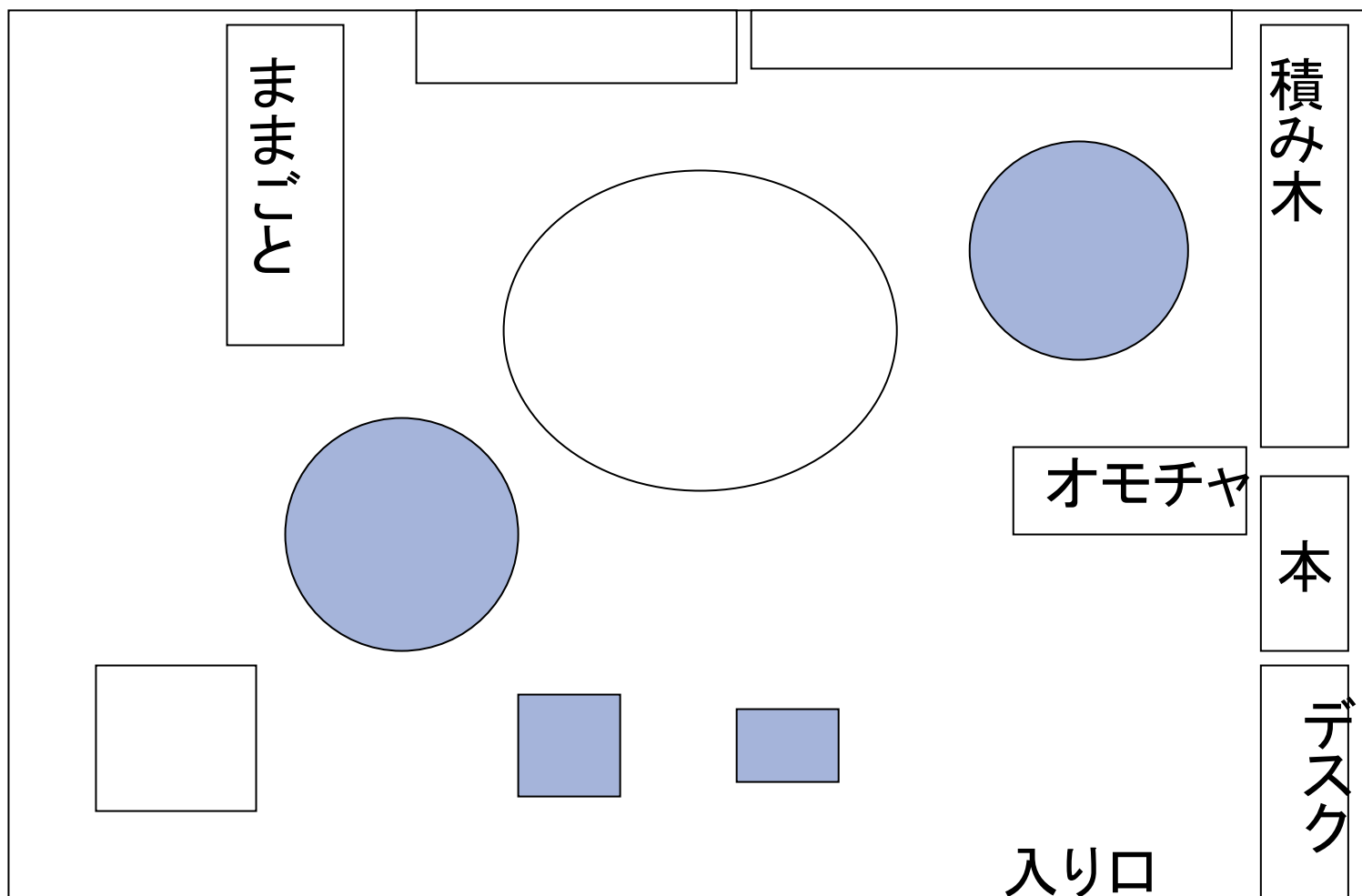
1. こんにちはソング
2. 今日のテーマの説明 (観察)
3. 親子の自由あそび  
(親同士、子ども同士、先生と)
4. おやつ、さよならソング
5. 親用資料とアンケート用紙

プログラムの事例

幼児プレイグループ

ACTS

教室見取り図



プログラムの事例

幼児プレイグループ

# ACTS マッチング & パズル

## 幼児の思考力を育てる

- パズル
  - 部分と全ての関係
- パズルのはりつけ
- 粘土とオモチャ
  - 思考力と指の運動
- 本 “I Spy”

学術的裏付けと実践

## 親用資料

- 遊んでいる時のヒント
- 達成を助けるヒント
- 日常生活の中でのヒントー料理、服
- 体感ー思考（環境）
- 変化を学ぶ（氷、公園、写真）

親の感想

# MSU Extension

<http://www.msue.msu.edu/portal/>

1914年 extensionシステムが作られる  
(全米の大学で第一号)

1918年 ミシガン州立大学が地域に教育講座を開始



## ミッション

人々が問題解決、ニーズなどの知識を得て、生活がよりいっそう豊かになるよう、教育を提供することによりサポートをしていく。

## 基本姿勢

EXCELLENCE(素晴らしい)教育プログラムと教師陣とスタッフ

PEOPLE (人々に) 現在もっとも必要としているプログラムを提供しサポートする

CHANGE(変化)に柔軟に対応し、常によりサポートを提供

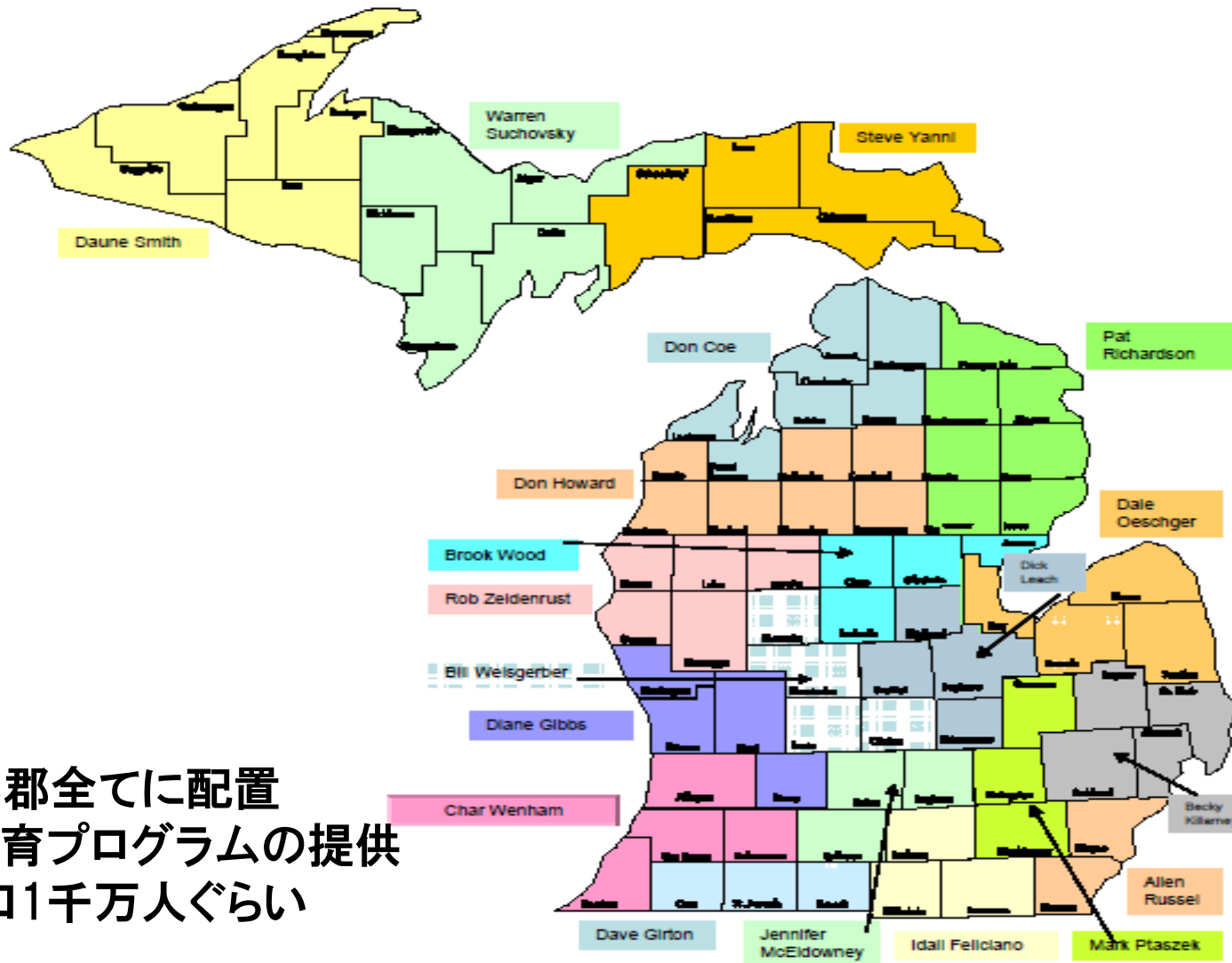
OPENNESS(オープン) and INTEGRITY(誠実)な関係を全ての人々と

DIVERSITY (多様性) 違いは尊いもの

ACCESSIBILITY(可能) ミシガン州の全ての地域にMSUのサービスが届く

PARTNERSHIPS(パートナーシップ) 地域のサービス関連と円滑に

# ミシガン州とMSU Extension



83郡全てに配置  
研究・教育プログラムの提供  
人口1千万人ぐらい

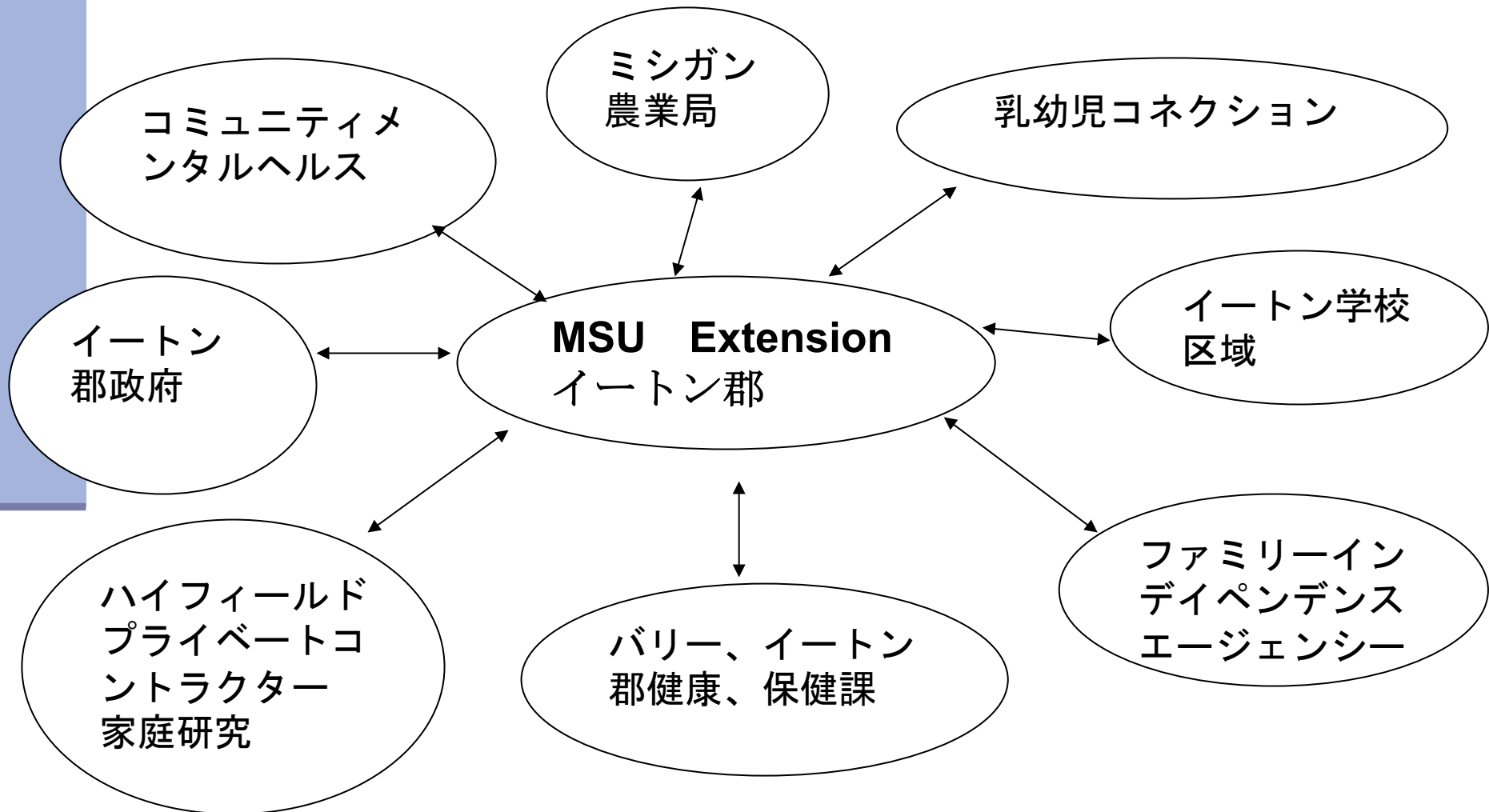
イートン郡

# MSU Extensionネットワーク

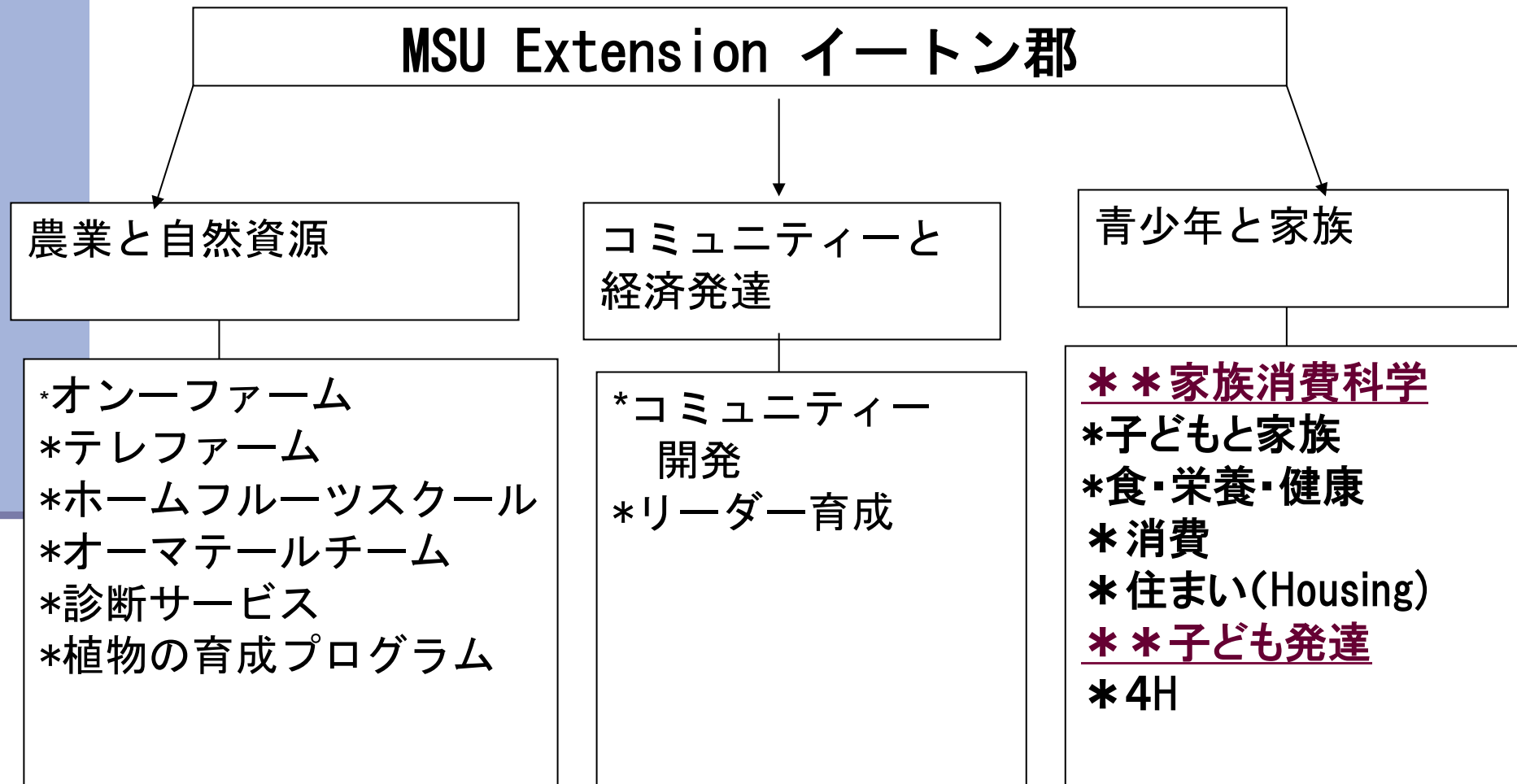
人口10万5千人ほど

年間資金7千万円

連邦政府、イートン郡



# MSUエクステンションの仕組み



# MSU Extension

## 青少年と家族プログラム

- Vision: すべての子どもたちが健康で、学ぶ準備がある。親は肯定的に子どもたちを育てる。家族は安全で繁栄する。地域は安全で暮らしやすい。
- Mission: 学術的裏づけのある教育の提供により家族のサポートをする。家族サポートする地域能力を教育、協力、システムの改善によって提供する。
- 2つ焦点
- Family and Consumer Sciences (家族消費科学) - 大学機関と公共資源との調和によって家族がよりよい生活が可能なるサポートを提供する。4つのエリアは家族・食物・消費・ハウジング
- Youth Development/4-H (子ども発達) - 子どもたちが、ボランティアやスペシャリストと活動するなかで、楽しみながら教育を受けられるような機会や情報を提供する。



# MSU Extension イートン郡

## 青少年と家族

### 子どもと家族

[Parenting Education for Parents with Infants](#)

\* \* \* [Divorcing Parents Education SMILE](#)

[Family & Community Education Association](#)

\* \* \* [Building Strong Families](#)

[Helping Preschoolers Develop Early Reading](#)

### 食物・栄養・健康

[Nutrition Throughout Life Cycle](#)

[Health and Wellness](#)

[Food Safety](#)

[Food Preservation](#)

[Food Resource Management](#)

[Personal Action Towards Health \(PATH\)](#)

[Senior Menu Newsletter](#)

こども発達・\* \* \* 4H

### 消費

[Investing In Your Future](#)

[Planning for a Secure](#)

[Retirement](#)

[Retirement Estimates for Farm](#)

[Families](#)

[Thinking Over an Early](#)

[Retirement Offer](#)

[America Saves](#)

[Estate Planning](#)

[Basic Money Management](#)

[Consumer Tips](#)

### ハウジング

[Home Energy Management Fact Sheets](#)

[Home Maintenance and Repair](#)

[Mold Module Course--Linkage](#)

[Radon](#)

プログラムの事例（こどもと家族）

イートン郡

## MSUエクステンション スマイル講座

- 目的：子どもと両親の円滑なかかわりと、子どもの心のケア
- 背景：離婚率がとても高い
- 対象：0-18歳の子をもつ離婚した親
- 協力：裁判官、MSUエクステンション、MSUの教授（講座、本作成）
- 年6回、2時間 60-80人



プログラムの事例

イートン郡

# MSUエクステンション スマイル講座

1. あいさつ——裁判官
2. 講義——MSUエクステンションデレクター  
「離婚の過程——子どもは立ち直る」  
「テnderプレイス」ビデオ
3. 講義——MSUエクステンションデレクター  
「悲しみの過程——子どもは親よりも早く深い悲しみを  
経験する」
4. 休憩
5. 講義——心理学者  
「子どもへの精神的サポート」
6. サポートサービスの案内——サービスセンターデレクター
7. 質疑応答——裁判官

プログラムの事例

イートン郡

MSUエクステンション

スマイル講座

### 準備

- ビデオ  
“テンダープレイス”  
多数からの選択
- 本  
離婚する親たちのガイドブック

### ■ 資料

Single Parenting  
Resources for Rebuilding  
The Non-Custodial Parent  
Children in Divorced Families  
Teenagers in Divorced Families  
Custody  
Step-parenting

学術的裏付けと統計

### 親用資料

- 本  
““In Your Child’s Best Interest: A  
Guide for Divorcing Parents”
- プリント  
失望からの立ち直り方、ストレス、児  
童虐待
- スマイルニュースレター

参加者の感想

# MSU Extension プログラム



## ■ Building strong families

概要:

0～3歳児の子がいる家庭を個別訪問し、子どもの成長、子どものしつけ、かかわり方や、親の心身ケア方法を紹介する。

サービス:

週に一度の訪問が1年間続けられる。教材はビデオ、紙芝居形式など工夫をこらす。

- ・担当者と参加者との信頼関係
- ・家をでることが、難しいひとたち

- How Kids Develop  
月、年ごとによる子どもの成長の段階を学ぶ
- Helping Kids Behave  
親の前向きな行いが子どもの成長にどのように影響を与えるのか
- Playing to Learn  
親子の良い関わり方が子どもの成長にどのように影響を与えるのか
- Smart Living  
親自身、自分の良い面をわかること。現実にあった目標を立てることができること

# MSU Extension プログラム



## ■ 4H

目的 子どもたちが将来、自信をもった親切な大人になるように大人たちがサポートする。子どもたちが人と交わること、学びたいことを学べる楽しさを知ること、お金、時間の大切さを知ること

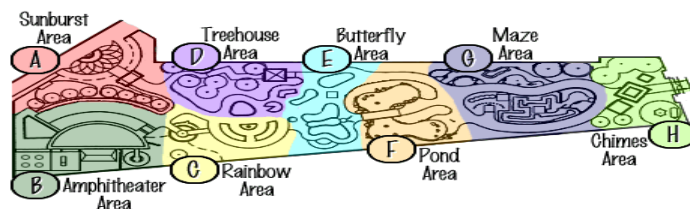
対象 5～19歳

イートン郡子ども3000人 全米500万人(推薦者2名)大人500人

活動内容大人向け講習会、会議、情報交換、こども、大人のクエスト、祭り、キャンプ、アートなど

リサーチ、知識を大学から、サポートを地域、州、連邦政府から。

- Head(考える)  
大人たちの助けのもと、自分で考え、学ぶ。
- Heart(誠実)  
友達に親切にし、互いを尊敬しあうことができる。大人たちとよい関係を築く。
- Hands(よいこと、手助け)  
体験を通し、自分の才能、スキルを使って、自分たちの地域をよくすること。
- Health(より良く過ごす)  
自分でよい選択をし、心身健康を保つこと。学校、家、地域で自分のことは自分でできる。



# 日本の公共サービスの現状

- 必ずしも専門性を身につけた者が担当者ではない。しかし、地域教育・福祉サービスは行政が主に動いている。
- NPO法人化が進んでいるが、これからの分野

# アメリカ合衆国と日本の公共サービスの違い

- 公共サービスの人材
- 大学extension meet Michigan
- 大学機関と公共サービスの連携
- 学識経験者の関わり方
- 公共サービス提供までのプロセス  
企画—作成—実行—査定

問題解決・環境向上・日常生活密接 VS.形式・イベント  
自立した生活を送れるように支援するVS.?



# これから 排除から包摂へ

- 形式型から内容充実型へ  
現場にスペシャリストの配置  
企画—作成—実行—査定の充実（問題解決）
- サービスの土台において提供側の情報・知識を広げること

それには

- \* 大学機関の知識提供 特に家政学強化が必須  
（衣食住、家族関係、子ども発達、生活一般、プログラムデザイン、評価）
- \* エクステンションの充実 地域行政、民間との連携

ニーズを見落とさないようになる

ニーズにあったサポートサービスができるようになる

# Thank you for your listening

- 家政学の知恵が社会で活かされたとき、  
「身近な地域で、その人らしく自立した生活を送れるように支援する」ことができるようになる。

ありがとうございました。

